

第2学年

シラバス（保健体育）科

愛媛県立大洲高等学校

教科	保健体育	科目	体育	学年	2	類型	共通
単位数	3	教科書	現代高等保健体育	出版社	大修館書店		
副教材	ステップアップ高校スポーツ2022						

学習の到達目標

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

授業の概要

- ・体力の強化を図るとともに積極的に授業に取り組む姿勢を養います。
- ・集団の中の個人であること（意識の統一・やる気の共有）を自覚した行動をとると同時に、体力の向上を図ります。
- ・アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、各種の運動を実践することで、自主的かつ安全に配慮する力を身に付けると同時に、運動の知識を深めます。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりに、下記の評価項目により

観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。
評価の対象	技能テスト・授業ノート 授業時の観察など	グループ活動・授業ノート 授業時の観察など	学習への参加状況・振り返りシート ルーブリック・授業時の観察など
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・ 「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい (内容のまとまりごとの評価規準)	定期考査
1 学 期	集団行動 体づくり運動 ・集団走 ・体づくり運動 ・ラジオ体操	・集団行動の行い方を学び、効率的に行動することができる。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図ることができる。	1 学期 期末考査
	球技 ・ベースボール型 (ソフトボール) ・ネット型 (バレーボール、 テニス)	・各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付けることができる。 ・ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行うことができる。	
	体育理論 運動・スポーツの学び 方 ・スポーツにおける技 能と体力 ・スポーツにおける技 術と戦術	・運動・スポーツにおける技能と体力の関係について考察する。 ・技術と技能について考察する。	
2 学 期	体づくり運動 ・体ほぐし運動 ・体力を高める運動 ・新体力テスト	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図ることができる。 ・自己の体力・運動能力の状態を把握することができる。	2 学期 期末考査
	球技 ・ゴール型 (バスケットボール、 サッカー) ・ネット型 (バドミントン)	・各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付けることができる。 ・ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行うことができる。	
	体育理論 運動・スポーツの学び 方 ・技能の上達過程と練 習 ・効果的な動きのメカ ニズム	・技能の上達課程と効果的な練習法について考察する。 ・動きのコントロールについて考察する。	
3 学 期	陸上競技 ・持久走	・持久力の向上を図ることができる。	学年末考査
	球技 ・ゴール型 (バスケットボール、 サッカー) ・ネット型 (バドミントン)	・各種球技の特性を理解し、技術・戦術を身に付けることができる。 ・ルールと審判法を学習し、公正な立場で、仲間と協力して、自主的な活動を行うことができる。	
	体育理論 運動・スポーツの学び 方 ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの 安全の確保	・体力トレーニングの進め方について考察する。 ・運動やスポーツを行うときに注意することについて考察する。	

第2学年 シラバス (保健体育) 科

愛媛県立大洲高等学校

教科	保健体育	科目	保健	学年	2	類型	共通
単位数	1	教科書	現代高等保健体育	出版社	大修館書店		
副教材	現代高等保健体育ノート						

学習の到達目標

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

授業の概要

- ・教科書「現代高等保健体育（大修館）」の内容を中心に授業を行います。
- ・アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、視聴覚機器の活用や調べ学習など主体的な学習を行うことで、内容を理解し、知識を深めます。
- ・健康・安全に関する基礎的な知識を習得し、より健康的な生活を送るための実践力を育てます。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト（小テスト）・授業時の観察など	定期考査・課題レポート 授業時の観察など	学習への参加状況 振り返りシート・ルーブリックなど
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 <p>5 … 十分満足できると判断できるものうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとまりごとの評価規準）	定期考査
1 学 期	生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連について理解する。 ・思春期における心身の変化、及び健康課題について理解する。 	1 学期 期末考査
	3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて理解する。 ・妊娠・出産の過程における健康課題について理解する。 ・適切な避妊法、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解する。 	
	6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚生活を健康的に送るために必要な知識について理解する。 ・加齢にともなう心身の変化について理解する。 	
2 学 期	8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義や健康とのかかわりについて理解する。 ・労働災害を防ぐための安全・健康管理について理解する。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて理解する。 	2 学期 期末考査
	健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因とその健康影響について理解する。 ・水質汚濁・土壌汚染の原因とその健康影響について理解する。 	
	3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染を防ぐための取り組み、産業廃棄物の処理について理解する。 ・ごみの処理の現状と課題、上下水道のしくみと健康課題について理解する。 	
3 学 期	5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性と健康のかかわりについて理解する。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について理解する。 	学年末考査
	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> ・保健行政の役割や保健サービスについて理解する。 ・医療保険のしくみや医療機関の役割について理解する。 ・医薬品の正しい使用法や安全性を守る取り組みについて理解する。 	
	10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・国際機関や民間機関などの保健活動について理解する。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて理解する。 	